

ぎふ女性農業委員 ・推進委員だより

◆編集・発行 ぎふ農業委員会女性ネットワーク
会長 高田 禮子

令和4年3月
第12号

令和3年度ぎふ農業委員会女性ネットワーク総会・研修会

令和3年10月21日、ぎふ農業委員会女性ネットワークの総会、研修会をオンライン開催し、会員である女性委員47名、農業委員会事務局や東海農政局、県担当者など84名が参加しました。

総会では、令和2年度事業報告・決算承認、令和3年度事業計画・予算決定、役員選任、農業委員・農地利用最適化推進委員への女性登用要請について協議し、事業報告・決算、事業計画・予算は原案通り承認されました。

役員選任では、コロナ禍で活動を制限される中、本ネットワークの活動を少しずつ取り戻すため、活動を熟知した現体制を継続することが決定しました。

ネットワーク役員 全員留任

役職	市町村	氏名
会長	本巣市	高田 禮子
副会長	輪之内町	國島 まき
副会長	白川町	佐伯 美智代
副会長	下呂市	熊崎 みどり
監事	美濃市	山口 はつ子
監事	恵那市	西尾 ひろみ

総会・研修会の様子



令和4年度改選に向け 更なる女性登用を！

また、農業委員・推進委員への女性登用について、令和4年度に改選する7市（各務原市・瑞穂市・山県市・郡上市・恵那市・下呂市・飛騨市）の農業委員長へ本ネットワーク会長名の要請文を7市の会員から手交することを決定しました。本ネットワークは、要請時の同行や委員への推薦書発行など政府目標の委員に占める女性割合30%、女性委員のいない委員会ゼロを目指して活動していきます。

研修会では、茨城県龍ヶ崎市の（有）横田農場で6次産業化を担当する横田祥さんから「女性視点のアイデアを取り入れた農業」と題して講演いただきました。米粉スィーツ事業や農業女子プロジェクトのAGRI-BATON PROJECTの取組みをご紹介いただき、最後にプロジェクトで企画した絵本「あさごはんのだね」を朗読いただきました。

総会・研修会の動画はこちらから↓

QRコード



横田さんの講演の様子

令和3年度ぎふ農業・ 農村男女共同参画推 進会議

令和3年8月23日、オンライン開催された標記会議に高田会長と事務局が出席しました。

最初に、県から今年度の取り組みについて、ぎふ女性農業者次世代リーダー育成塾、農業の起業化研修会、「岐阜で活躍する女性」の登録、女性農業者の活躍推進のためのロールモデルづくりの4点の説明がありました。

続いて、岐阜県JA女性連絡協議会、女性農業経営アドバイザーいきいきネットワーク、指導農業士会、青年農業士連絡協議会から取り組み状況を発表しました。本ネットワークからは、令和2年度の改選結果や改選までに実施した取り組み状況、今後の活動、LINEオンラインチャットなどを発表しました。

最後に、女性認定農業者の育成や女性農業者のロールモデルづくりなどについて意見交換を行いました。

令和3年度全国農業 委員会女性協議会第 2回理事会

令和3年8月30日、オンライン開催された標記理事会に高田会長と事務局が参加しました。

最初に、全国農業委員会女性協議会から令和3年度後期の活動方針及び活動重点、女性の農業委員登用状況、委員活動をPRする資料作成や各種協議会等関係者との連携などの取り組みについて説明がありました。

続いて、女性の委員に関する各種会議の開催について説明がありました。

全国認定農業者協議 会女性部との意見交 換会

全国農業委員会女性協議会第2回理事会に併せ、同協議会の理事、監事が全国認定農業者協議会女性部と意見交換を行いました。

熊本県認定農業者連絡協議

会、福岡県認定農業者組織連絡協議会の女性部から活動を紹介いただきました。その後、未組織県の組織化やネットワークの拡大・強化について意見交換を行いました。

令和3年度女性の農 業委員会初任者委員 のための研修会

令和3年11月9日に標記研修会がオンライン開催されました。

講演では、駒澤大学経営学部教授の渡辺伊津子さんが「メタ視点のススメ」批判的思考を活用する」と題して、一つ高い目線から物事を見る「メタ視点」で様々な思考を受け入れ、問題を解決することが重要だとお話しされました。

続けて、事例報告では、兵庫県栗市農業委員会の藤木悦子委員、鹿児島県枕崎市農業委員会の水野正子委員、宮城県仙台市農業委員会の高山真里子推進委員から委員活動や委員になって良かったこと、これからの抱負などの紹介がありました。



令和3年度 東海・近畿ブロック女性の農業委員会研修会 を開催しました!

～女性農業委員・推進委員登用促進と活動を広げよう～

開会のことば



佐伯副会長

Zoom画面



令和3年12月9日、標記研修会をオンラインで開催し、東海農政局、県、農業者年金基金、全国農業会議所、東海・近畿ブロックの女性委員・推進委員、農業会議など187名が参加しました。本県からは、女性委員35名ほか55名が参加。なお、進行は、本県が開催県のため、本ネットワーク役員が行いました。

情勢報告



最初に、佐伯副会長が開会のことばを読み上げ、高田会長が主催者挨拶、東海農政局、県農政部から来賓挨拶をいただきました。

続いて、情勢報告では「農業委員会をめぐる状況と女性委員登用について」と題して、全国農業会議所の佐藤主事から説明がありました。また、情報提供として「農業者年金制度について」と題して農業者年金基金の西理事長から説明がありました。

講演では、「地域の女性リーダーを目指す、育てる」と題して東京家政学院 特別招聘教授の野村浩子さんにお話いただきました。日経ウーマンの副編集長など働く女性を取材してきた経験から、女性リーダーの

育成や「対話」によって新たな価値を作っていく経験をする事が大切だとお話しされました。意見交換会では、「女性委員の活動と登用促進について」をテーマに女性委員による特徴的な活動やコロナ禍での登用促進活動等について、最初に、高田会長から自身の活動を発表し、次に、京都府、静岡県、愛知県、滋賀県の代表から発表がありました。

最後に、次期開催県ひょうご農業委員会女性ネットワークの大西会長から挨拶いただき、熊崎副会長が閉会のことばを読み上げました。

兵庫県でお会いできるのを
楽しみにしています!!



熊崎副会長

閉会のことば

令和3年度女性の農業委員会会長・会長職務代理者会議

令和3年12月13日、オンライン開催された標記会議に本県から女性の農業委員会会長・職務代理者5名、事務局ほか9名が参加しました。

最初に、講演では、駒澤大学経営学部教授の渡辺伊津子さんが「リーダーシップと経験学習」と題して、女性の行動を制限する「ステレオタイプ脅威」を克服するには、リーダーシップを向上させる経験を積み、自信を付けることが大切だとお話されました。

続いて、意見交換会では、Zoomのブレイクアウトルーム機能を使って、グループに分かれ、メインテーマ「農業委員会内での情報共有の方法」とサブテーマ「本日講演を受けての学び」「女性の委員登用促進」について意見交換を行いました。

最後に、代表グループから農業委員会だよりやLINE、総会後の意見交換会などで情報共有していることを発表されました。

令和3年度府県女性農業委員会組織会長ブロック別会議(東海・近畿ブロック)

令和3年12月21日、オンライン開催された標記会議に高田会長と事務局が参加しました。

最初に、東海・近畿ブロックの各女性組織会長の紹介がありました。

続いて、全国農業委員会女性協議会理事の任期満了に伴い、新たな理事選出の話し合いを行いました。東海ブロックは、高田会長から、しずおか農業委員会女性の会の土屋会長に交代しました。

最後に、農業委員・農地利用最適化推進委員の女性登用等に関する申し合わせ決議(素案)について説明がありました。

令和3年度女性農業委員登用促進研修会

令和4年1月11日、12日にオンライン併用で開催された標記会議に高田会長と國島副会長、佐伯副会長、熊崎副会長、

女性委員、事務局ほか11名が参加しました。

11日には、最初に、駒澤大学経営学部教授の渡辺伊津子さんから「女性登用に向けた実践型協働の試み」と題して講演がありました。

続いて、栃木県日光市農業委員会の星一徳前会長から検討委員会設立や改選時に次期委員を女性に指名するなどの取り組みを発表されました。

最後に、Zoomのブレイクアウトルーム機能を使って「農業現場における女性の登用促進について」をテーマにグループ討議が行われました。

12日には、情勢報告として、東海農政局から「農業における女性の活躍推進について」と題して、女性参画推進状況や女性活躍・男女共同参画の重点方針2021、女性の活躍事例、農業女子プロジェクトなどについて説明がありました。女性の活躍事例では、恵那市農業委員会による会議中の託児所の設置や農業者年金の加入推進などについて紹介されました。

最後に、11日に行ったグループ討議の結果を代表グループから発表しました。





令和4年度全国農業 委員会女性協議会第 1回理事会

令和4年1月11日、標記理事
会がオンライン併用で開催され、
高田会長と事務局が出席しま
した。

翌日の総会提出議案、農業委
員・農地利用最適化推進委員の
女性登用等に関する申し合わ
せ決議（案）、第17回女性の農
業委員会活動推進シンポジウ
ムアピール（案）について協議し
ました。

第12回全国農業委 員会女性協議会総会

令和4年1月12日、標記総会
がオンライン併用で開催され、
高田会長と事務局が出席しま
した。

総会では、令和3年度の活動
報告の承認と収支決算、令和4
年度活動計画の策定と収支予
算、会費の賦課、理事および監
事の選任について、原案どおり
承認されました。令和4年度の
活動では、初任者研修会、農業
委員会における男女共同参画

セミナーなど、新型コロナウイルス
感染症の拡大状況を鑑みな
がら行っていく予定です。

また、令和2年12月25日に
閣議決定された「第5次男女共
同参画基本計画」において早期
（令和5年度）に農業委員に占
める女性の割合20%を達成す
るよう目標が定められたこと
を受け、目標達成を確実にす
めるため申し合わせ決議（以
下）を採択しました。

申し合わせ決議

- 一 女性の農業委員・推進委員の具
体的な登用目標を決めよう
- 二 女性の農業委員・推進委員登用
に向けて、関係機関等へ積極的に
働きかけよう
- 三 農業委員会の女性組織として積
極的な推薦を実施しよう
- 四 次代の農業委員・推進委員の掘
り起こしに取り組もう

令和3年度 第2回ぎ ふ農業・農村男女共同 参画推進会議

令和4年3月10日、オンライ
ン開催された標記会議に高田
会長と事務局が出席しました。

最初に、県から新たな「ぎふ
農業・農村男女共同参画プラ
ン」の進捗状況と取り組みにつ
いて説明がありました。

続いて、岐阜県JA女性連絡
協議会、女性農業経営アドバイザー
ザーいきいきネットワーク、指
導農業士会、岐阜県農畜産公
社、各市町村から取り組み状
況を発表しました。本ネットワ
ークからは、令和4年度改選に向
け、要請書の発出や推薦書の発
行などの女性委員登用推進の
取り組みや、今後の活動につ
いて発表しました。

その後、県からぎふ女性農業
者ロールモデルづくりについて
説明があり、ロールモデルにな
る農業者を各団体で推薦する
ことの協議、農業における政
策・方針決定過程への女性参画
の推進について、各関係機関か
ら今後の取り組みを説明しま
した。

最後に、東海農政局から女性
が変える未来の農業推進事業、
県からワークライフバランス推
進企業・エクセレント企業につ
いて情報提供がありました。



令和3年度(第17回) 女性の農業委員会活 動推進シンポジウム

令和4年3月11日、オンライン開催された標記シンポジウムに女性委員や事務局が参加しました。

最初に、横浜国立大学・大妻女子大学 名誉教授 田代洋一さんが「女性農業委員・農地利用最適化推進委員に期待すること」と題して、地域への役割や実績をアピールしていくことが大切だと話しされました。続いて、福井県小浜市農業委員会の高鳥佐太一推進委員が

事例報告をしました。小浜市の太良庄地区では、区や土地改良区、農家組合、森林組合、婦人会、子供会などを構成員とする「一般社団法人太良庄荘園の郷」を設立し、農地中間管理機構を通して農地を同法人に集約する太良庄まるっと「中間管理方式」を行っている」と発表されました。

最後に、シンポジウムのアピールをしまね農業委員会女性協議会の佐々木会長が読み上げ、満場一致により採択されました。採択されたアピールは、後日、全国女性協議会会長と副会長から農林水産省へ提出されました。

女性委員のための農 業者年金セミナー

同日、女性の農業委員会活動推進シンポジウムに引き続き、オンライン開催された標記セミナーに本県から女性委員と事務局ほか20名が参加しました。

最初に、農業者年金基金の西理事長が「なぜ農業者年金なのか」農業者年金制度と加入推進」と題して、年金制度と加入推進状況、制度改正について説明がありました。

続いて、北海道別海町農業委員会の小野榮一会長と鳥取県北栄町農業委員会の杉川一二美委員から事例報告がありました。

老後の備えに農業者年金に加入しましょう!!

加入要件

- ①60歳未満
- ②国民年金1号被保険者
- ③年間60日以上農業に従事



※経営に参画している経営主と**家族経営協定**を締結している**配偶者**や**後継者**(40歳未満)には保険料の補助があります!

月額2万円の保険料のうち、35歳までは1万円、35歳以上は6千円を国が積み立ててくれます。

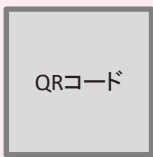
※令和4年1月から

要件を満たす35歳未満の方は、保険料下限額を**1万円**まで引き下げることができます!

令和3年度 第2回 ぎふ農業委員会女性ネットワーク研修会



研修会の様子



← 研修会の動画は
こちらから

令和4年3月17日、ぎふ農業委員会女性ネットワークの第2回研修会をオンライン開催し、会員である女性委員20名、農業委員会事務局など42名が参加しました。

研修会では、2019年より内閣府男女共同参画推進連携会議有識者議員を務めるなど活躍されている(株)Wii Labの小安美和さんに「意志決定層に女性を」と題して講演いただき「できること」と題して講演いただきました。今後、高齢女性が増える中、女性が将来を決める場にいることは重要だとお話いただきました。また、講演内で4グループに分かれて、①委員・推進委員のやりがい、②女性委員登用促進の壁、③若手を巻き込むためのアイデアをテーマに話し合いました。

意見交換会

Aグループ

家族の後押しが大切!!
すぐには理解できないので、長い期間を見据えて説得していく。



Bグループ

委員同士で協力して行う食農教育活動で、女性をターゲットに声掛けしていきたい。



まとめ

- ①委員・推進委員のやりがい
 - ・農地法の勉強ができる機会になった
 - ・農業者年金や食農活動で地域の若い人や女性と仲良くなった
 - ・委員でなければ気付かなかった地域の状況が分かった
- ②女性委員登用促進の壁
 - ・家族からの反対があった
 - ・委員活動の魅力が伝わらない
 - ・女性が少ないため、委員になるのに勇気がいる、自信がない
- ③若手を巻き込むためのアイデア
 - ・魅力を伝えるために、根気よく説得、情報提供していく
 - ・安心して委員になってもらうために、サポート体制を作る
 - ・年金・食農活動などで表には出ない配偶者を掘り起こす

農業委員会は活躍する女性委員を求めています!!

❁県内でたくさんの女性委員が活躍中です♪

女性農業委員 84名 女性農地利用最適化推進委員 13名

❁農業委員は①～③を満たすように市町村ごとに推薦・公募で選ばれます

- ①原則として認定農業者等を過半とすること
- ②農業者以外の中立的な立場の方を1名以上入れること
- ③女性・青年を積極的に登用すること

❁任期は3年です(任期満了を迎え以下のおり改選が予定されています)

令和4年 3月「山県市」 4月「各務原市・瑞穂市」
6月「飛騨市」 9月「下呂市」 11月「恵那市」
令和5年 2月「郡上市」 7月・8月「残り35市町村」

委員に挑戦しませんか? /



女性委員の情報交換のための

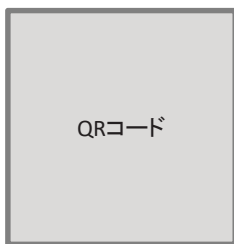
LINE「オープンチャット」に参加しよう！

ぎふ農業委員会女性ネットワーク会員や事務局が日頃の委員活動をワイワイ楽しく情報交換するLINEアプリを使ったオープンチャットです。

農業会議から活動に役立つ情報や研修のご案内など一早く提供します。

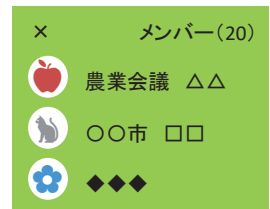
オープンチャットとは？

- 登録・利用は無料 & 登録・退会はいつでも自由
- 使い方はLINEのグループトークと同じで簡単
- 参加前のトークも見ることができます
- オープンチャット専用のニックネームや写真が設定可能
- 匿名で参加して観るだけOK
- 参加者同士で友だち追加・申請はされません
- LINE本アカウントの写真やプロフィールは他の参加者には見えません



スマホでQRコードを読みこみ「参加」を押そう!!

ニックネームで
登録できます！
市町村・名前で
登録がおすすめ



ぎふ農業委員会女性ネットワーク

購読のお申し込みをお待ちしております

全国農業新聞は農業者の公的代表機関である農業委員会組織が発行する農業総合専門紙です。

「週刊」の時間を生かし、情報がわかりやすいよう解説的にまとめています。

毎週金曜日発行 月700円/年8,400円

お申し込みはお近くの農業委員会まで



<編集後記> 今年度は、Zoomなどオンラインでの会議が中心となりました。少しずつオンライン会議にも慣れてきた中、Zoom機能のブレイクアウトルームを使った意見交換会にも挑戦してみました。少しでも皆さんが会える・仲良くなれる機会を作れていれば嬉しいです。(M)

編集
発行

ぎふ農業委員会女性ネットワーク 岐阜市藪田南5-14-12 県シンクタンク庁舎2階
事務局:一般社団法人岐阜県農業会議
TEL:058-268-2527 FAX:058-273-6177 E-mail:gifu@nca.or.jp URL:http://www.gifu-agri.jp